



## 見せろ団結、勝ち取れ栄冠(4)



## 生徒のみなさんへ

- 体育大会の振り返り ● 前号に続き、体育大会を振り返った1・2年生の感想を一部紹介します。

## 1年1組 ○○ ○○ さん

みんなで協力して「楽しかった!」って言える体育大会になった。保体委員が中心となってクラスみんなの種目を決めたり、作戦を考えたり、準備を文句一つ言わずにしてくれたことに感謝して、その他の代議委員、学芸委員など準備や後片付けなど沢山の場面で動いてくれたり、クラスみんなも全員で協力して最高な大会で終わることができて良かったと思う。大縄や全員リレーでは、最初の回数や順位が練習を重ねて増えたり、みんなで最高記録が出せたりした時は嬉しかったし、作戦を作って試したり、アドバイスしたり、クラスの絆が前より深まった気がした。最高の体育大会になって良かった。(中略)ブロック長の声出しとか最後の一言でやる気が出ていたし、3位という結果だったけど2・3年生と協力して頑張ることができて最高だった。

## 1年2組 ○○ ○○ さん

体育大会はとても楽しかったです。理由は、自分のチームが勝って欲しいと思う気持ちがほとんどかもしれませんが、皆が最後まで諦めなかったから楽しかったのだと思います。どういう事かと言うと、リレーでは一位と差がかなり開いていても諦めずに走っていたこと、綱引きでは最後までカー一杯頑張っていたこと、大玉では慣れないことでも精一杯頑張っていたこと、こういう最後まで諦めない思いが見ている人に刺激を与えてとても楽しい大会になったのだと思います。次に、忘れてはいけないのが応援だと思います。いくら選手が頑張っても、応援が無ければ見ている人も選手もあまり楽しめない静かな大会になっていたと思います。つまり、今年の湯川中の体育大会は、全員が「一致団結」して「全力勝負」となったのは、選手全員、観客全員が諦めず全力で楽しみ、頑張っていたから最高の大会にできたんだと思います。来年はもっと頑張りたいです。

## 1年3組 ○○ ○○ さん

私は体育大会で改めて応援の大切さを学びました。私は中学生になって部活動の試合、体育大会などで誰かを応援する機会が増えました。そして、応援される機会も増えました。この体育大会は応援の声がたくさん聞こえていました。だからこの大会は成功したんだと思います。応援は誰かをやる気にさせます。競技中に他のブロックの応援が聞こえてきたらそのブロックに勝ちたいという気持ちが強くなります。逆に自分のブロックの応援が聞こえてきたらもっと頑張ろうという気持ちになります。だから、それぞれのブロックが協力して全力で戦えたんだと思います。そして応援のもう一つの良いところは、友達でも友達じゃなくてもみんなが一つになって一生懸命頑張れるところです。今年の体育大会は、学年やブロックを超えて関わったみんなが仲間になれたと思います。来年の体育大会も応援を忘れず、やって良かったと思える大会にしたいです。

## 1年4組 ○○ ○○ さん

私は体育大会を終えて、いろいろなことを学びました。まず、自分のミスをずっと気にしていてもきりが無いということです。私はリレーで練習通りの成果が発揮できずにミスをしてしまい、申し訳なさで心が押しつぶされそうでした。けれど、友達が次に頑張ればいいよと言ってくれたり、励ましてくれたらしたので、自分でも切り換えて頑張ってみようと思うことができました。

次に、クラスだけじゃない他の学年とも団結力を高められたことです。最初は不安なことや、分からないことが多かったけれど、今までは他の学年と団結して取り組むことが特になく、初めて一緒に練習したから、3年生が優しく分かりやすく教えてくれて気づけば楽しく練習に取り組んでいました。そして、一番実感したことは、何事も過程が大事だということです。これはいつも校長先生が話していて、共感はしていたけど、実感はしていませんでした。でも、この体育大会を通してたくさん練習した思い出を振り返ると、負けてしまったという結果よりも勝つために一生懸命頑張ってきた過程のほうがたくさん思いが詰め込まれていて大切なんだと分かりました。(後略)



## 2年1組 ○○ ○○ さん

私が体育大会を終えて一番印象に残ったことは大縄です。初めての縄の練習では2回しか跳べず課題点がたくさんありました。2回目の練習で29回という記録を出し、その時点では全体での最高記録だったので、みんなはとても喜んでいました。しかし、練習を重ねていくごとに、他のクラスから越されたり、記録がなかなか伸びなかったりしました。クラスの雰囲気は最悪でした。ですが、保体委員を中心に列の並び方やジャンプのタイミングを確認し合っ、最高記録を出したいという一心で頑張りました。(中略)これらみんなの頑張りから予行練習や学年練習でどんどん記録を更新していき、大会前日には44回まで跳べるようになりました。そして本番当日、私は縄を回す係なのにとっても緊張し、みんなも緊張した表情でした。結果は28回で2位とあまり跳べなかったけど、みんなの真剣な表情や協力のおかげで一糸懸命縄を回すことができて良かったです。

これからも行事がたくさんあるけど、2年1組はやるときはやる!と思うから、みんなで協力してさらに良いクラスになりたいと思いました。この体育大会を勝敗関係なく楽しむことができ、学校全体で団結することができて良かったです。来年は私たちが最上級生となり、後輩たちを引っ張っていく側だから頑張っていきたいです。

## 2年2組 ○○ ○○ さん

私はこの体育大会で学んだことが二つあります。一つは保体委員の大変さです。保体委員は他の委員会よりも放課後長く残り、準備をしてくれたり、学級で積極的に指示や声掛け、アドバイス、チーム編成、補欠調整をしたりと、大変なことを沢山してくれました。これは、簡単にできることではありません。また、学年練習などで並ぶ際、すぐに声を掛けてくれて、そのおかげでほとんどの場面で2組は速く並ぶことができました。こういった保体委員の頑張りにより、赤ブロックが一致団結賞になれた理由の一つだと思います。本当に保体委員に感謝したいです。来年の体育大会では保体委員になりたいと思うことができました。

二つ目は、大縄の取組です。練習では、2組が1位になれることはほとんどなく、悔しい気持ちの中、予行練習では1回しか跳べず、心の中で本番ではドベになるかもしれないと思っていました。でも本番では30回跳ぶぞ!という掛け声中、最初はうまくいかなかったけど、後半、みんなの心が一つになって31回も跳ぶことができました。こんなに跳べるとは思ってもいなかったです。これも、本番に向けてずっと練習してきた成果が出たんだと感じました。練習すれば必ず成果が出るということを学びました。

## 2年3組 ○○ ○○ さん

私は体育大会を通して思ったことは、クラスのみならず一致団結することが大切だと思いました。その理由は、3組が一番一糸懸命に取り組んだ大縄です。練習では最高52回跳んでいました。でも、本番はたった1回でした。確かに、本番で最高の記録を残すことはできませんでしたが、私がいいなと思ったのは声の輝きは一位だった所です。競技中の声や結果発表の時の声は、一位の組より輝いていたと思います。また、3年生のダンスは私はとてもかっこいいなと思いました。来年自分たちが先輩たちのようなキラキラのあるダンスをみんなの風にかっこよく踊るなんて自信がありません。いつも見てきた先輩たちのかっこいい一面を見ることができてとても印象に残りました。赤ブロックは惜しくも優勝はできませんでしたが、一致団結賞を取ることができました。体育大会に向けて取り組んだ練習、本番一回しか跳べなかった大縄、それぞれの種目一つ一つ全部が思い出になりました。来年は私たちが作る体育大会です。中学校生活最後の大会、どう全力勝負するか、どういう思い出になるのか私たちにしかかかっていると思います。先輩たちのように来年は私たちが全力勝負を作ります。

## 2年4組 ○○ ○○ さん

(中略)今回の体育大会を通して最も印象に残っているのは、ブロック長やクラスの保体委員などリーダーが中心となって練習や本番の時にみんなをまとめ、団結させてくれたことだ。特に、3年生の先輩方が、自分たちも経験したことのない新しい形の体育大会を全力でつくり上げようとする姿は、とても印象的だった。来年は私たちがあの役になるんだと思うと、今から楽しみでもあり、同時に不安でもあるが、精一杯頑張りたいと思う。今年の大会ではミスした人や負けたクラスが嫌な気持ちになるような言動をする人がいたが、今年はいいいチームワークを築いて正々堂々と勝負ができたので良かった。また、リレーで最下位のアンカーが走っている時、クラスやブロック関係なく温かい声援が送られていたのも、心に残るワンシーンになった。そういうことが“団結”や“チームワーク”なんだと気づいて感動した。来年は自分たちが後輩を導いていく立場になるので、今まで以上に意識を高くもって行事に参加していきたい。



皆さんの振り返りから、とても充実した大会になったと感じていることが伝わってきます。大会では、一人一人が本気で取り組み、全力で走り、演技し、懸命に仲間を応援する姿がありました。だからこそ自分も楽しめ、見る人も感動させたのだと思います。スローガン通り、全力で勝負し、見事に団結した皆さんと先生達、そして保護者の皆様と共に、感動を分かち合えたことを大変嬉しく思います。ここで培った力を、今後に活かしてくれることを期待しています。